

# 令和3年度 城西子ども園 学校評価

調査時期 令和4年3月

調査対象	回収率
①0歳児・1歳児・2歳児保護者(38名) 最兄長子のみ	86.8%(33/38名)
②3歳児・4歳児・5歳児保護者(56名) 最兄長子のみ	83.9%(47/56名)
③0歳児・1歳児・2歳児職員(13名)	100%(12/12名)
④3歳児・4歳児・5歳児職員(7名)	100%(7/7名)

評価判定基準
A そう思う+ややそう思う 75%以上
B そう思う+ややそう思うが60%以上74%未満
C そう思う+ややそう思う60%未満

結果 ①:そう思う ②:ややそう思う ③:あまり思わない ④:そう思わない ⑤:わからない

## ①0歳児・1歳児・2歳児保護者 回答

(上段:人数 / 下段:割合)

	アンケート内容	① そう思う	② やや そう思う	③ あまり 思わない	④ そう 思わない	⑤ 分からない	評価判定
基本	入園に当たっての重要事項説明会や入園・進級式の際に入園のしおりの説明を行っています。これまでに園の保育理念や目標などの説明を受けていますか。	30 90.9%	3 9.1%	0 0%	0 0%	0 0%	A
教育保育の内容と質の向上	保育者は、子どもが今何に興味関心をもっているか、どうしたらもっと遊びが広がっていくかなどを考え、見通しをもった計画を立て保育に当たっています。保育者は子どもの発達や興味関心に応じた保育に努めていると思いますか。	31 93.9%	2 6.1%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	保育者は保育の質の向上のために、園外や園内の研修に取り組みながら、子どもの主体的性を育む手だてを考えています。保育者は、子ども自身が” やってみたい！” と思うような保育の工夫に努めていると思いますか。	29 87.9%	4 12.1%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	保育者は、絵本に親しむ環境を整備し読み聞かせを心掛け、絵本から広がる遊びを大事にしています。子ども達には言葉やイメージの世界が広がっていると思いますか。	31 93.9%	2 6.3%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	保育者は、子どもが行事の負担にならないように心掛けています。今年度はコロナの影響で行事も形を変えましたが(運動会、きらきらおたのしみかい、きらきらはっぴょうかいなど)お子さんは喜んで参加していましたか。	23 69.7%	8 24.2%	1 0%	0 0%	1 0%	A

	アンケート内容	そう思う	やや そう思う	あまり 思わない	そう 思わない	分からない	評価判定
保健・環境	保育者は毎月、園舎や遊具の点検、クラスハザードマップや安全チェックリストでの確認や、玩具などの消毒や環境の整備に努めています。 保育者は、子どもが安心して園ですごせるように努力していると思いますか。	28	5	0	0	0	A
	84.8%	15.2%	0%	0%	0%		
	保育者は、毎月の防災の日に火災、地震、風水害、不審者などの避難訓練を行い、年二回の交通安全教室や散歩時の交通指導を行っています。 保育者は、安全、防犯に努めていると思いますか。	31	2	0	0	0	A
	保育者は、感染症拡大予防マニュアルに基づいた消毒等の対応や感染症と思われる発生状況を玄関に掲示するなどしています。 保育者は、感染拡大予防に努めていると思いますか。	29	3	1	0	0	A
	87.9%	9.1%	0.0%	0%	0%		
連携支援	園やクラスの状況を、育ちのレポートや園だより、クラス便り、ホームページなどで知らせたり、写真やマップ等を使って保育が見えるように努めています。 コロナで部屋には入れない、会話もままならない、そういった状況の中で、クラスの状況や子ども達の学びの様子を知るのに玄関の「キラキラがいっぱい」の掲示物は役に立ちましたか。	26	7	0	0	0	A
	78.8%	21.2%	0%	0%	0%		
	保護者から寄せられた意見や要望について園や保育者は出来る限りの対応を心掛けています。 園や保育者は誠意ある対応をしていると思いますか。	31	1	1	0	0	A
	93.9%	3.0%	0%	0%	0%		
食育	じゃがいもや野菜などの栽培・収穫の体験やクッキングの機会を多く設けています。また、未満児も彼岸団子作りや餅つきで丸めたり、ケーキにトッピングしたり、出来る範囲で参加し、また、以上児の作ったものをご馳走してもらうなどの交流も行っています。 こうした取り組みは子どもが食べる喜びを感じたり、食べ物に興味をもつきっかけとなると思いますか。	32	1	0	0	0	A
	97.0%	3.0%	0%	0%	0%		
	コロナの影響で、給食やおやつを試食は出来ませんが、毎月、食育に関する情報や献立予定表などを配付したり、「今日のランチ」の写真を事務室カウンターに貼り出したりしています。 これらは、園の給食やおやつを知ってもらうことに役立っていると思いますか。	29	3	1	0	0	A
	87.9%	9.1%	0%	0%	0%		
教育保育の内容と質の向上 (未満児)	0, 1, 2歳児は伸び伸びと体を動かし、この時期の遊びが充実したものとなるよう、個別の計画を立て、一人一人の興味や関心にあった環境を心掛けています。 保育者は、子どもが自ら体を動かそうとする意欲を育てていると思いますか。	29	3	1	0	0	A
	87.9%	9.1%	0%	0%	0%		
	保育者は優しく声をかけたり、スキンシップをとったりしながら子どもたちに接するように心掛けています。 お子さんは、好きな先生と安心感を持って過ごしていると思いますか。	31	2	0	0	0	A
93.9%	6.06%	0%	0%	0%			
	保育者は、散歩に出かけたり、戸外遊びを行ったり、外気に触れながら自然に触れる機会を多く取り入れる様にしています。 子ども達は自然に親しみ、触れあう中で冷たい、暖かい、きれい、不思議などの感覚や感性が育っていると思いますか。	32	1	0	0	0	A
	97.0%	3.0%	0%	0%	0%		

## ②3歳児・4歳児・5歳児保護者 回答

(上段:人数 / 下段:割合)

	アンケート内容	① そう思う	② やや そう思う	③ あまり 思わない	④ そう 思わない	⑤ 分からない	評価判定
基本	園の保育理念や目標等については、入園にあたっての重要事項説明会や、城西便りに掲載するなどして理解に努めています。 これまでに園のこれまでに保育理念や目標などの説明を受けていますか。	42 89.4%	5 10.6%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	保育者は、子どもが今何に興味関心をもっているか、どうしたらもっと遊びが広がっていくかなどを考え、見通しをもった計画を立て保育に当たっています。 ★保育者は子どもの発達や興味関心に応じた保育に努めていると思いますか。	42 89.4%	5 10.6%	0 0%	0 0%	0 0%	A
教育 保育の 内容と 質の 向上	保育者は保育の質の向上のために、園外や園内の研修に取り組みながら、子どもの主体的性を育む手だてを考えています。 ★保育者は、子ども自身が” やってみたい！” と思うような保育の工夫に努めていると思いますか。	44 93.6%	3 6.4%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	保育者は、絵本に親しむ環境を整備し読み聞かせを心掛け、絵本から広がる遊びを大事にしています。 ★子ども達には言葉やイメージの世界が広がっていると思いますか。	39 83.0%	7 14.9%	1 0.0%	0 0%	0 0%	A
	保育者は、子どもが行事の負担にならないように心掛けています。★今年度もコロナの影響で行事も形を変えましたが（運動会、きらきらおたのしみかい、きらきらはっぴょうかいなど）お子さんは喜んで参加していましたか。	45 95.7%	2 4.3%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	保育者は毎月、園舎や遊具の点検、フスハワードマップや安全チェックリストでの確認や、玩具などの消毒や環境の整備に努めています。また、コロナに対し密の回避や手洗いの励行、マスクの着用などできる限りの感染対策を心がけています。★保育者は、子どもが安心して園で過ごせるように努力していると思いますか。	41 87.2%	6 12.8%	0 0%	0 0%	0 0%	A
保健・ 環境	保育者は、毎月の防災の日に火災、地震、風水害、不審者などの避難訓練を行い、年二回の交通安全教室や散歩時の交通指導を行っています。 ★保育者は、安全、防犯に努めていると思いますか。	46 97.9%	1 2.1%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	保育者は、感染症拡大予防マニュアルに基づいた消毒等の対応や感染症と思われる発生状況を玄関に掲示するなどしています。 ★保育者は、感染拡大予防に努めていると思いますか。	42 89.4%	4 8.5%	1 2.1%	0 0%	0 0%	A
	園やクラスの状態を、育ちのレポートや園だより、クラス便り、ホームページなどで知らせたり、写真やマップ等を使って保育が見えるように努めています。★コロナで部屋には入れない、会話もままならない、そういった状況の中で、クラスの状態や子ども達の学びの様子を知るのに玄関の「キラキラがいっぱい」の掲示物は役に立ちましたか。	41 87.2%	5 10.6%	0 0%	1 0.0%	0 0%	A
連携 支援	保護者から寄せられた意見や要望について園や保育者は出来る限りの対応を心掛けています。 ★園や保育者は誠意ある対応をしていると思いますか。	42 89.4%	3 15.7%	1 0.0%	0 0%	1 0.0%	A
	じゃがいもや野菜などの栽培・収穫の体験やクッキングの機会を多く設けています。また、未満児も彼岸団子作りや餅つきで丸めたり、ケーキにトッピングしたり、出来る範囲で参加し、また、以上児の作ったものをご馳走してもらうなどの交流も行っています。 ★こうした取り組みは子どもが食べる喜びを感じたり、食べ物に興味をもつきっかけとなるとと思いますか。	45 95.7%	2 4.3%	0 0%	0 0%	0 0%	A
食育	コロナの影響で、給食やおやつを試食は出来ませんが、毎月、食育に関する情報や献立予定表などを配付したり、「今日のランチ」の写真を事務室カウンターに掲示したり、子どもの好きな給食をレシピ集で紹介したりしています。★これらは、園の給食やおやつを知ってもらうことに役立っていると思いますか。	44 93.6%	2 4.3%	1 0.0%	0 0%	0 0%	A

	アンケート内容	① そう思う	② やや そう思う	③ あまり 思わない	④ そう 思わない	⑤ 分からない	評価判定
教育保育の内容と質の向上 (以上児)	保育者は、子どもが心に思ったことや感じたこと、考えたことを言葉や歌やダンス、あるいは描いたり作ったりと自由に表現できる環境作りに努めています。 ★保育者は、子ども達の表現しようとする意欲を受け止め、楽しんで表現できるよう援助していると思いますか。	41	6	0	0	0	A
		87.2%	12.8%	0%	0%	0%	
	保育者は仲立ちをしながら、子ども達が生活や遊びをよりよくしようとする姿を認めたり励ましたりしながら関わっています。 ★保育者は生活や遊びの中で、してよいことや悪いこと、ルールがあることや自分も友達も大切なことなど、子どもの道徳心や規範の芽生えを育もうと努めていると思いますか。	40	7	0	0	0	A
	保育者は、意図的に同年齢、異年齢で過ごす時間を設けながら、同年齢と異年齢の中で育つそれぞれの良さを大切にしようとしています。 ★異年齢児との関わの中で「みようみまね」の伝承や、思いやりの心、あこがれの心などが育っていると思いますか。	43	3	1	0	0	A
		91.5%	6.4%	2.1%	0%	0%	
連携支援	例年、小学校と連携を取りながら、小学生を招待してじゃがいもパーティーや卒業を祝う会を設けたり小学生との交流会や体験入学、あるいは小学校の先生方の保育参観と10の姿の共通理解のための研修会を行ったりしています★園や保育者は子ども達が小学校への憧れや期待をもち、スムーズに入学できるよう努めていると思いますか。	18	5	0	1	0	A
		75.0%	20.8%	0%	0.0%	0%	

### ③0歳児・1歳児・2歳児職員 回答

(上段:人数 / 下段:割合)

	アンケート内容	① そう思う	② やや そう思う	③ あまり 思わない	④ そう 思わない	⑤ 分からない	評価判定
基本	入園に当たっての重要事項説明会や入園・進級式の際に入園のしおりの説明を行っています。あなたは、園の保育理念や目標などを理解していますか。	7 53.8%	6 46.2%	0 0%	0 0%	0 0%	A
教育 保育 の内容 と 質 の 向 上	子どもの発達や興味関心に応じた保育に当たるため、あなたは、子どもが今何に興味関心をもっているか、どうしたらもっと遊びが広がっていくかなどを考え、見直しをもった計画を立て保育に当たっていますか。	7 53.8%	6 46.2%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	あなたは、保育の質の向上のために、園外や園内の研修に取り組みながら、子どもの主体的性を育む手だてを考え、子ども自身が” やってみたい！” と思うような保育の工夫に努めていると思いますか。	5 38.5%	8 61.5%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	あなたは、子ども達に言葉への興味やイメージの世界が広がっていくように、絵本に親しむ環境を整備し読み聞かせを心掛け、絵本から広がる遊びを大事にしていますか。	7 53.8%	6 46.2%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	あなたは、行事が子どもの負担にならないように心掛けながら、今年度はコロナの影響で行事も形を変えましたが（運動会、きらきらおたのしみかい、きらきはらっぴょうかいなど）お子さんが安全且つ喜んで参加できるような工夫に努めましたか。	9 69.2%	4 30.8%	0 0%	0 0%	0 0%	A
保健 ・ 環 境	あなたは子どもが安心して園ですごせるように、毎月、園舎や遊具の点検、クラスハザードマップや安全チェックリストでの確認や、玩具などの消毒や環境の整備に努めていますか。	6 46.2%	7 53.8%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	あなたは、毎月の防災の日に火災、地震、風水害、不審者などの避難訓練を行い、年2回の交通安全教室や散歩時の交通指導を行い、安全、防犯に努めていると思いますか。	11 84.6%	2 15.4%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	保育者は、感染症拡大予防マニュアルに基づいた消毒等の対応や感染症と思われる発生状況を掲示、紙面、口頭などで家庭に知らせるなどして、感染拡大予防に努めていますか。	9 69.2%	4 30.8%	0 0%	0 0%	0 0%	A
連 携 支 援	園やクラスの状況を、育ちのレポートや園だより、クラス便り、ホームページなどで知らせたり、写真やマップ等を使って保育が見えるように努め、コロナで部屋には入れない、会話もままならない、そういった状況の中で、玄関の「キラキラがいっぱい」の掲示物などで、クラスの状況や子ども達の学びの様子を知らせることに努めましたか。	9 69.2%	4 30.8%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	保護者から寄せられた意見や要望についてあなたは誠意ある対応に努めましたか。	5 38.5%	8 61.5%	0 0%	0 0%	0 0%	A
食 育	じゃがいもや野菜などの栽培・収穫の体験やクッキングの機会を多く設けています。また、未満児も彼岸団子作りや餅つきで丸めたり、ケーキにトッピングしたり、出来る範囲で参加し、また、以上児の作ったものをご馳走してもらおうなどの交流も行っています。あなたはこうした、子どもが食べる喜びを感じたり、食べ物に興味をもつきっかけとなる取り組みに努めましたか。	9 69.2%	3 23.1%	1 7.7%	0 0%	0 0%	A
	コロナの影響で、給食やおやつを試食は出来ませんが、毎月、食育に関する情報や献立予定表などを配付したり、「今日のランチ」の写真を事務室カウンターに張り出したりしています。あなたは、給食やおやつの様子を保護者に伝えるなど、食育を意識しながら保育を行っていますか。	9 69.2%	3 23.1%	1 7.7%	0 0%	0 0%	A



	アンケート内容	① そう思う	② やや そう思う	③ あまり 思わない	④ そう 思わない	⑤ 分からない	評価判定
教育保育の内容と質の向上 (未満児)	あなたは、子どもが自ら体を動かそうとする意欲が育つことを願って。子どもが伸び伸びと体を動かし、この時期の遊びが充実したものとなるよう、個別の計画を立て、一人一人の興味や関心にあった環境を心掛けていますか。	5 38.5%	7 53.8%	1 7.7%	0 0%	0 0%	A
	あなたは子ども達に優しく声をかけたり、スキンシップをとったりしながら、子どもたちが好きな先生と安心感を持って過ごせるように心掛けていますか。	11 84.6%	2 15.4%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	あなたは、子ども達が自然に親しみ、触れあう中で冷たい、暖かい、きれい、不思議などの感覚や感性が育つようにと、散歩に出かけたり、戸外遊びを行ったり、外気に触れながら自然に触れる機会を多く取り入れる様に行っていますか。	11 84.6%	2 15.4%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	あなたは、子どもが主体的な活動や豊かな体験が出来るような遊びの環境や援助の仕方の工夫に努めていますか。	8 61.5%	5 38.5%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	あなたは、保育の振り返りを行い、改善に心掛けていますか。	8 61.5%	5 38.5%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	あなたは、園内外の研修に出来る限り参加し、質の向上に努めていますか。	5 38.5%	6 46.2%	1 7.7%	1 7.7%	0 0%	A

### ④ 3歳児・4歳児・5歳児職員 回答

(上段:人数 / 下段:割合)

	アンケート内容	① そう思う	② やや そう思う	③ あまり 思わない	④ そう 思わない	⑤ 分からない	評価判定
基本	入園に当たっての重要事項説明会や入園・進級式の際に入園のしおりの説明を行っています。あなたは、園の保育理念や目標などを理解していますか。	6 85.7%	1 14.3%	0 0%	0 0%	0 0%	A
教育 保育 の内容と 質の 向上	子どもの発達や興味関心に応じた保育に当たるため、あなたは、子どもが今何に興味関心をもっているか、どうしたらもっと遊びが広がっていくかなどを考え、見直しをもった計画を立て保育に当たっていますか。	7 100%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	あなたは、保育の質の向上のために、園外や園内の研修に取り組みながら、子どもの主体的性を育む手立てを考え、子ども自身が” やってみたい！” と思うような保育の工夫に努めていると思いますか。	5 71.4%	1 14.3%	1 14.3%	0 0%	0 0%	A
	あなたは、子ども達に言葉への興味やイメージの世界が広がっていくように、絵本に親しむ環境を整備し読み聞かせを心掛け、絵本から広がる遊びを大事にしていますか。	7 100%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	あなたは、行事が子どもの負担にならないように心掛けながら、今年度はコロナの影響で行事も形を変えましたが（運動会、きらきらおたのしみかい、きらきはらっぴょうかいなど）お子さんが安全且つ喜んで参加できるような工夫に努めましたか。	7 100%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	A
保健・ 環境	あなたは子どもが安心して園ですごせるように、毎月、園舎や遊具の点検、クラスハザードマップや安全チェックリストでの確認や、玩具などの消毒や環境の整備に努めていますか。	6 85.7%	1 14.3%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	あなたは、毎月の防災の日に火災、地震、風水害、不審者などの避難訓練を行い、年2回の交通安全教室や散歩時の交通指導を行い、安全、防犯に努めていると思いますか。	7 100%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	あなたは、感染症拡大予防マニュアルに基づいた消毒等の対応や感染症と思われる発生状況を掲示、紙面、口頭などで家庭に知らせるなどして、感染拡大予防に努めていますか。	7 100%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	A
連携 支援	園やクラスの状況を、育ちのレポートや園だより、クラス便り、ホームページなどで知らせたり、写真やマップ等を使って保育が見えるように努め、コロナで部屋には入れない、会話もままならない、そういった状況の中で、玄関の「キラキラがいっぱい」の掲示物などで、クラスの状況や子ども達の学びの様子を知らせることに努めましたか。	7 100%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	保護者から寄せられた意見や要望についてあなたは誠意ある対応に努めましたか。	6 85.7%	1 14.3%	0 0%	0 0%	0 0%	A
食育	じゃがいもや野菜などの栽培・収穫の体験やクッキングの機会を多く設けています。また、未満児も彼岸団子作りや餅つきで丸めたり、ケーキにトッピングしたり、出来る範囲で参加し、また、以上児の作ったものをご馳走してもらおうなどの交流も行っていきます。あなたはこうした、子どもが食べる喜びを感じたり、食べ物に興味をもつきっかけとなる取り組みに努めましたか。	7 100%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	コロナの影響で、給食やおやつを試食は出来ませんが、毎月、食育に関する情報や献立予定表などを配付したり、「今日のランチ」の写真を事務室カウンターに張り出したりしています。あなたは、給食やおやつの様子を保護者に伝えるなど、食育を意識しながら保育を行っていますか。	4 57.1%	3 42.9%	0 0%	0 0%	0 0%	A

	アンケート内容	A そう思う	B やや そう思う	C あまり 思わない	D そう 思わない	E 分からない	評価判定
教育保育 の 内容 と 質 の 向 上 保 育 ( 以 上 児 )	あなたは、子どもが心に思ったことや感じたこと、考えたことを言葉や歌やダンス、あるいは描いたり作ったりと自由に表現できる環境作りに努めながら、子ども達の表現しようとする意欲を受け止め、楽しんで表現できるよう援助していると思いますか。	6 85.7%	1 14.3%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	あなたは仲立ちをしながら、子ども達が生活や遊びをよりよくしようとする姿を認めたり励ましたりしながら関わるなかで、生活や遊びの中で、してよいことや悪いこと、ルールがあることや自分も友達も大切なことなど、子どもの道徳心や規範の芽生えを育もうと努めていますか。	7 100%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	あなたは、同年齢と異年齢の中で育つそれぞれの良さを大切にしようとしています。異年齢児との関わりのなかで「みようみまね」の伝承や、思いやりの心、あこがれの心などが育つようにと努めていますか。	5 71.4%	2 28.6%	0 0%	0 0%	0 0%	A
16	例年、小学校と連携を取りながら、小学生を招待してじゃがいもパーティーや卒業を祝う会を設けたり小学生との交流会や体験入学、あるいは小学校の先生方の保育参観と10の姿の共通理解のための研修会を行ったりしています。	4 57.1%	3 42.9%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	あなたは、様々な機会を捉えて、子ども達が小学校への憧れや期待をもち、スムーズに入学できるよう努めていますか。						
教育保育 の 内容 と 質 の 向 上 保 育 ( 以 上 児 )	あなたは、子どもが主体的な活動や豊かな体験が出来るような遊びの環境や援助の仕方の工夫に努めていますか。	5 71.4%	2 28.6%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	あなたは、保育の振り返りを行い、改善に心掛けていますか。	6 85.7%	1 14.3%	0 0%	0 0%	0 0%	A
	あなたは、園内外の研修に出来る限り参加し、質の向上に努めていますか。	6 85.7%	1 14.3%	0 0%	0 0%	0 0%	A



## 総合評価

## 【城西子ども園関係者評価委員による判定及び講評】

	評価項目	評価判定		関係者評価委員	
		保護者	保育者	判定	講評
基本	園の保育理念や目標などについては、入園に当たっての重要事項説明会や城西便りに掲載するなどして理解に努めています。 ★これまでに園の保育理念や目標などの説明を受けていますか。	A	A	A	保護者の理解・協力を得られていることがみてとれます
教育保育の内容と質の向上	保育者は、子どもが今何に興味関心をもっているか、どうしたらもっと遊びが広がっていくかなどを考え、見通しをもった計画を立て保育に当たっています。 保育者は子どもの発達や興味関心に応じた保育に努めていると思いますか。	A	A	A	保育者の質の良さが見て取れます
	保育者は保育の質の向上のために、園外や園内の研修に取り組みながら、子どもの主体的性を育む手だてを考えています。 ★保育者は、子ども自身が” やってみたい！” と思うような保育の工夫に努めていると思いますか。	A	A	A	”遊びは学び” といいます。保育の内容の工夫が見てとれます。
	保育者は、絵本に親しむ環境を整備し読み聞かせを心掛け、絵本から広がる遊びを大事にしています。 ★子ども達には言葉やイメージの世界が広がっていると思いますか。	A	A	A	読み聞かせを通し、絵本の面白さがわかり、”文字” への関心も高まっていると思います。
	保育者は、子どもが行事の負担にならないように心掛けています。 ★今年度もコロナの影響で行事も形を変えましたが(運動会、きらきらおたのしみかい、きらきはっぴょうかいなど)お子さんは喜んで参加していましたか。	A	A	A	コロナ禍のなか、実施開催は難しかったとおもいますが、Aという評価はすばらしい。
保健・環境	保育者は毎月、園舎や遊具の点検、クラスハザードマップや安全チェックリストでの確認や、玩具などの消毒や環境の整備に努めています。 又コロナに対し、密の回避や手洗い励行、マスク着用などできる限りの感染対策を心がけています。 ★保育者は、子どもが安心して園ですごせるように努力していると思いますか。	A	A	A	コロナ禍のなかで、保護者一人一人の対応は難しかったと思いますが、よく理解されていると思います。
	保育者は、毎月の防災の日に火災、地震、風水害、不審者などの避難訓練を行い、年二回の交通安全教室や散歩時の交通指導を行っています。 ★保育者は、安全、防犯に努めていると思いますか。	A	A	A	子どものいのち、安全を守るのが一番の責務ですが、よく理解されています。
	保育者は、感染症拡大予防マニュアルに基づいた消毒等の対応や感染症と思われる発生状況を玄関に掲示するなどしています。 ★保育者は、感染拡大予防に努めていると思いますか。	A	A	A	コロナ対応も危機対応と同じです。保護者もよく理解されています。
連携支援	園やクラスの状況を、育ちのレポートや園だより、クラス便り、ホームページなどで知らせたり、写真やマップ等を使って保育が見えるように努めています。 ★コロナで部屋には入れない、会話もままならない、そういった状況の中で、クラスの状況や子ども達の学びの様子を知るのに玄関の「キラキラがいっぱい」の掲示物は役に立ちましたか。	A	A	A	限られたスペース、時間の中でも園の対応は素晴らしい。
	保護者から寄せられた意見や要望について園や保育者は出来る限りの対応を心掛けています。 ★園や保育者は誠意ある対応をしていると思いますか。	A	A	A	評価からも園の対応の素晴らしさが見て取れます。

食育	じゃがいもや野菜などの栽培・収穫の体験やクッキングの機会を多く設けています。また、未満児も彼岸団子作りや餅つきで丸めたり、ケーキにトッピングしたり、出来る範囲で参加し、また、以上児の作ったものをご馳走してもらうなどの交流も行っていきます。 ★こうした取り組みは子どもが食べる喜びを感じたり、食べ物に興味をもつきっかけとなると思いますか。	A	A	A	食事の大切さがよく理解され、保護者も協力的であることが見て取れます。
	コロナの影響で、給食やおやつを試食は出来ませんが、毎月、食育に関する情報や献立予定表などを配付したり、「今日のランチ」の写真を事務室カウンターに掲示したり、子どもの好きな給食をレシピ集で紹介したりしています。★これらは、園の給食やおやつを知ってもらうことに役立っていると思いますか。	A	A	A	レシピなど視覚化できており、保護者もよく理解できている。
教育保育の内容と質の向上 (未満児)	0, 1, 2歳児は伸び伸びと体を動かし、この時期の遊びが充実したものとなるよう、個別の計画を立て、一人一人の興味や関心にあった環境を心掛けています。 ★保育者は、子どもが自ら体を動かそうとする意欲を育てていると思いますか。	A	A	A	職員の対応の素晴らしさが見て取れます。
	保育者は優しく声をかけたり、スキンシップをとったりしながら子どもたちに接するように心掛けています。 ★お子さんは、好きな先生と安心感を持って過ごしていると思いますか。	A	A	A	乳児保育の大切さと保育者の関わり方の素晴らしさが理解されている。
	保育者は、散歩に出かけたり、戸外遊びを行ったり、外気に触れながら自然に触れる機会を多く取り入れる様にしています。★子ども達は自然に親しみ、触れあう中で冷たい、暖かい、きれい、不思議などの感覚や感性が育っていると思いますか。	A	A	A	保護者に目的・内容が良く理解されている。
教育保育の内容と質の向上 (以上児)	保育者は仲立ちをしながら、子ども達が生活や遊びをよりよくしようとする姿を認めたり励ましたりしながら関わっています。 ★保育者は生活や遊びの中で、してよいことや悪いこと、ルールがあることや自分も友達も大切なことなど、子どもの道徳心や規範の芽生えを育もうと努めていると思いますか。	A	A	A	道徳性の芽生えや、規範意識の高まりはなかなか見えにくい内容であるが、保護者の理解があるのは素晴らしい。
	保育者は、意図的に同年齢、異年齢で過ごす時間を設けながら、同年齢と異年齢の中で育つそれぞれの良さを大切にしようとしています。★異年齢児との関わりの中で「みようみまね」の伝承や、思いやりの心、あこがれの心などが育っていると思いますか。	A	A	A	異年齢交流の大切さが理解されている。
連携支援	例年、小学校と連携を取りながら、小学生を招待してじゃがいもパーティーや卒業を祝う会を設けたり小学生との交流会や体験入学、あるいは小学校の先生方の保育参観と10の姿の共通理解のための研修会を行ったりしています。 ★園や保育者は子ども達が小学校への憧れや期待をもち、スムーズに入学できるよう努めていると思いますか。	A	A	A	コロナ禍のなか、大変だが、小学校との連携の継続と充実を保護者に理解していただくことが大切です。

【基本】こども園教育保育容量のねらいや内容を踏まえた「問い」（評価の観点）になっていてわかりやすい。評価者すべてが新しい要領を学ぶ機会になればと思う。特に保育者は今年度のアンケートを振り返り次の課題となる項目に関しては次年度の狙いとしてつないで欲しい（PDCA）【質の向上】”キラキラがいっぱい”のキャッチフレーズが子ども、保育者、園のすべてを評価している。特に、キーワード「興味関心」「遊びが学び～広げる、深める」「絵本の世界」「自然との共有」等など保育の環境として輝いている。園のあらゆるところに見える化する工夫がある。【連携支援】今地域になくはない「必要不可欠な園」が求められている。地域のパイオニアになって欲しい。実績を見える化し、地域に発信して欲しい。○丁寧に教育活動を進められていると感じます。どの評価項目も高い達成状況で保護者の理解を得ながら、信頼関係に根ざした運営がなされています。○コロナ禍の中、様々な行事の内容変更・制限・中止など、保護者に園の教育活動を理解していただくのは大変だったと思いますが、すべての項目でAであり、すばらしい。○県内を見ても子ども達の感染が多く、様々な感染対策はとりつつ、教育・保育の充実を図るのは大変だったと思います。感染症に対する保護者の意識は様々です。（感染症対策と乳幼児教育の充実は相反することもあるかもしれません。）今後も感染症対策の啓発・周知をしっかりと続けていく必要があると思います。○日頃の保育の様子から、保育者に乳幼児教育への情熱と意欲を感じます。○園児一人一人を大切にされた教育・保育の結果として、保護者の安心感や感謝の気持ちが伝わってくる。○保護者からのすべての評価項目はAである。保育者は自信を持って教育・保育に当たっていたきたい。○保護者の意見から、保護者との情報交換・共有が十分でなかった場面もあるようです。コミュニケーションの機会を少しでも多く持つよう努めて下さい。日々の受け渡し時の言葉かけや連絡帳の活用を大切に、保護者と園（担任）が情報共有していくことが重要だと思います。

## 《評価の観点》

教育・保育の基本

教育・保育の内容と質の向上

保健・環境

食育

連携《保護者・地域・小学校》

### 関係者評価委員会による評価を終えて

- ◎ 評価委員（保護者代表）から「今年度は子どもが家で給食やおやつのこと、食材のことをよく話した。それに比べて、昨年度までしょっちゅう歌ったりダンスをしたりしていたのに、今年度はその姿があまりなかった。」との発言があった。内部評価にもあるように、保育者の関わり方の違いが家庭でも如実に表れているということが分かる。
- ◎ 昨年度のドキュメンテーション「キラキラがいっぱい」を掲示する場所についての反省を踏まえて、少しでも蜜を避けながらゆっくり見られる場所をと考えて、掲示の場所を新しく設置したところ、その効果があらわれ、親子で一緒に見ながら出来事を話題にしている様子が多く見られた。さらに、保育の「見える化」について発信出来ることを考えていきたい。
- ◎ 新型コロナウイルス感染症対策をしっかり行うことを基本として、「コロナだから出来ない」から、「コロナでもできる」教育・保育の工夫を試行錯誤しながら取り組んでいくこと。そして、子どもの主体的な活動を見据えた環境作りに思いを巡らしながら力を注ぐこと、を課題としていく。

## 内部評価

評価の観点	評価・課題・改善に向けて
全体	<p>○保護者アンケート結果を昨年度と比較してみると、未満児7項目、以上児1項目を除く項目において総合判定は同じAでも、内容的には①そう思うの評価が下がり、多くの課題が残された。            ○回収率は未満児保護者アンケートが昨年度91.4%が86.8%と下がり、以上児保護者アンケートは81.8%から83.9%と上がっている。            ○「評価の項目DまたはEとお答えの方は、理由をおきかせください」としてアンケート最後に欄を設けているが、各項目ごとに欄を設けたほうが具体的な理由と改善につながるのではないか。            ○「やってるつもり」「伝えているつもり」・・・「つもり」を、しっかり、はっきり、見えるように研鑽を重ねる。</p>
教育・保育の基本	<p>○園の理念や目標については新入園の重要事項説明会に加えて、城西便りに毎月のせ、意識してもらえるようにした。            さらに今後、玄関や連絡ノートに貼って、いつでも保護者目につくようにしてみたらどうか。</p>
教育・保育の内容と質の向上	<p>○新型コロナウイルスの感染拡大予防のための対策と保育の質とのほざまの中で、悩み、苦しみ、時には妥協しながらの日々であった。そして、子ども達にも保護者にも我慢していただくことが多々あった。特に、保育参加や運動会、発表会といった「密」が懸念される行事などはコロナの感染の状況に鑑みながら判断した。運動会、発表会については未満児、以上児別々の日程で行う予定であった。以上児は予定通り出来たが、未満児の場合、どちらも予定近くになり感染が拡大したため保護者の参加は取りやめ、ビデオ撮影配信となった。保護者はそんな状況判断を十分な理解を示しつつも、やはり、子どもの成長を目の当たりにしたいとの希望が強いことがアンケートに寄せられた意見で明らかになった。保育が見えにくいという実情が今回のアンケートの結果となった。            また、「子ども達は園での関わりの中で成長していくものであるからコロナ減少の折には子ども間の交流の緩和を」という大事な課題も寄せられた。            ○コロナ感染対策のため、子ども達に色々制限することも多く、子ども達がこのような中でもいかに主体的に遊びを楽しめるか、保育の工夫が求められた。が、果たして子どもの満足する環境であったか、また、保護者に日々の教育・保育をどこまで伝えることが出来たのだろうかを見直すとともに、感染対策にピリピリする状況だからこそ、「楽しく遊ぶ」事に意識を向けアイデアと工夫を大切にしながら、子どもの育ちに必要な活動や環境援助をどのように行っていくかを検討していく。            ○絵本に関する項目が未満児は94%と昨年度と変わりに対して、以上児は96.3%から80%へと大幅に低下している。本園が絵本を保育の柱としているので残念である。改善に向けて大型絵本やシアターの利用も上がっているように、コロナだと出来ないではなく、コロナの中でも出来る方法を考えていくべきである。            ○「キラキラがいっぱい」の掲示板を昨年玄関から場所を変えたことで、今日のドキュメンテーションを見ながら親子の会話が聞くようになった。            ○未満児は個別計画があり、ひとりひとりの発達を考えながらそれぞれの関わりや取り組みをしていることを、わかりやすく可視化して伝えていく方法を探る。</p>
保健・環境	<p>○未満児は3項目とも、「そう思う」が増えた。以上児も安全・防犯の項目は「そう思う」が増えている。昨年度の評価を生かし保健だよりや避難訓練の情報を毎月の城西便りに載せた結果と思われる。            ○安全・衛生の環境やコロナをはじめとした感染対策や感染症情報の共有など、子どもが安心して過ごす環境や感染の拡大予防の対応についての2項目の評は②「ややそう思う」もあれば、感染対策のやり過ぎという意見があり、今後もコロナの対応には苦渋の選択が迫られるだろう。            感染状況開示について③の評価もあるが、「コロナ発生時の開示も早く対応もしっかりしてもらったので安心して過ごせている」との意見も寄せられている。            また、「発熱の連絡で迎えに行き、家に帰ると熱がない」という意見に対する対応。コロナの無症状や感染力の強さの恐れや風邪かコロナか判断がつけず発熱に過敏になってしまう現状を見直すこと。さらに、かみつきやひっかきを防ぐ環境など、安心・安全の保育と教育・保育の質が来年度の大きな課題である。</p>
食育	<p>○今年の新しい取り組みとして、給食室から「城西こども園の子どもが好きな給食レシピ集」を作成配布した。佐賀市栄養士による食育指導(3回)が行われた。            ○年度後半には、黙食、2メートル間隔など約束事の多い食事となったが、ランチルームにいく前にレシピを知らせたり食材や行事食の意味を話したりする時間を持つようになったことで、子ども達も「食事を楽しみにランチルームへ降りたり、また、「個(間隔を開けて)」で食べることで、集中し、食べこぼしが少なくなったり、苦手なものも残さずに食べようとする姿をプラス面と捉えた。また、そうしたクラスでの関わりから、毎日の献立掲示ボードにも興味を示す様になり、ボードの前で友達同士で献立や食材を話題にしたり、保護者に「○○がはいっていたよ」「全部食べたよ」「おいしかったよ」などと報告している。こうした食べ物に興味を持ったことで喜んで食べる風景やつぶやきをもっと保護者に伝えていく必要がある。            また、2歳児も年上児の作った野菜などの収穫体験やクッキングを通して食への関心が高まっている。</p>
連携(保護者・地域・小学校)	<p>○「子どもの園での写真が欲しい」と望む保護者の声が多い。親としての心情はとてもよく理解できるし、要望に応じたいのはやまやまでであるが、・・・誰が、いつ、どんな方法で、行うことが出来るのか・・・            ○西与賀小学校の先生の保育参観や子どものよりよい育ちのための引き継ぎや研修会などは継続しているが、園児と小学生との直接の交流は中止となった。例年行われる西与賀小学校への体験入学はリモートで交流が行われた。小学校への散歩なども自粛している。</p>